

令和4年6月立山町議会定例会一般質問通告概要

(R4. 6. 13)

一般質問順番	1番	松	倉	勝	実	議員
	2番	平	井	久	秋	議員
	3番	佐	藤	康	弘	議員
	4番	広	島	秀	一	議員
	5番	堀	田		努	議員
	6番	後	藤	智	文	議員
	7番	澤	井	峰	子	議員
	8番	髪	口	清	隆	議員

<一般質問>

1番 松 倉 勝 実 議員

(1) 水害対策について、水田の貯水能力を生かした水田ダム効果の利用について

問う

- ① 前農水大臣の野上浩太郎先生のダム効果の実験がサンプルとして各地で実験されております。この件について、立山町として視察若しくは情報収集の有無について問う。
- ② 私は、農林課が主体となり設備もない状態でアナログなやり方で、防災効果を上げる私案をこの場で提案したい。

栃津川堤防水位が、発令水位に達すると、農林課より水田の排水口に10cmの排水調整板（木製の木のプレート）設置を有線でコールする。各集落の責任者には、ラインで周知徹底する。

実施完了連絡をラインで受ける。2時間以内で実施を目標とする。

これにより、100トン／一反が貯水できる。

水が下がり安全水位になると解除指示を出す。

有線とラインは開始時と同様とする。10地域を1時間ごとに放出させる。開始時と違うのは、一斉だと危険なため10地域に分けて1時間ごとに放出指示とする。

この案を提案したいが、町長の考えを問う。

(2) 各集落にある自治会の遊具の点検と保険について問う

- ① 昨年末に立山町で遊具のアンケートを取っている。立山町では、遊具の新設と撤去に対して補助金が出ている。しかし、点検と保険代金は、自治会の責任である。多くの自治会は、点検もしていないし、保険にも入っていない。この状態では、事故があったとき、誰が責任を取るのか、不安でいっぱいの自治会が多い。使用しているのは未来の宝、3歳児から12歳児までが多い。是非とも、点検と保険も町からの補助金を設けてほしい。
- ② 同時に点検は、一自治会が交渉すると点検代金が高額となる。福祉課が主体となり、町全体の遊具を自治会で分けるか、遊具別で分けるか一番効果的なグループ分けで、点検価格を安くする手助けもしてもらいたい。

(3) 寺田駅にある送迎用駐車場の運用について

寺田駅の12台の駐車場の使用は、ほとんどされていない。送迎用には3台分で事足りている。そこで、9台分は、自由な運用を検討してほしい。

2番 平井久秋 議員

(1) 次回の高校再編について

5月20日に県議会において今後の高校の在り方をテーマに意見が交わされた。生徒数の減少が加速する中で、早めの議論を始め、次の再編を見据えるべきとの意見が続出したとの報道があった。以前から、雄山高校に「国際観光コース」の設置を強く希望しているが、ある県議からも「普通科であっても将来の人生観や職業観を考えられるカリキュラムが大事で、専門学科を設けるなどの多様な学びができる環境を整えてほしい」との発言があった。地元亀山県議以外にも同様の考えがあることから、県に対して、パワーアップし多方面からの働き掛けをしていかなければならないと思う。雄山高校存続に対し、これまでの取組みを踏まえ、今後の対応を伺いたい。

(2) 町に元気と賑わいを

6月補正予算に、まちなかの廃ビルを撤去し、跡地整備する予算が組まれた。

- ① 平成30年にオープンした、まちなかファームのアクセス通路や防災広場にするとのことだが、このビル以外にもまだ建物があり、その効果を最大限発揮するには、隣接する富山信用金庫さんとの境界の柵をなくし、共同駐車場を設ければ、互いの相乗効果が生まれ、町中心部の集客や安全性の確保につながると思うが、今後の具体的な計画があれば伺いたい。
- ② 交差点付近を通った際、まちなかファーム東側が少し寂しく感じた。構造上、奥に店舗を構えたが前のスペースを使い、朝市などは開けないか。ウィズコロナになっていく中で、町が何か仕掛けていけばと思うが、いかがか。
- ③ 中心市街地に宿泊施設の誘致をとのことであったが、まずは町中に飲食店の集積と考える。

観光地としての魅力向上につながると思う。

町長の考えを問う。

(2) 町における公金の管理と運用について

昨今、新型コロナウイルス感染症対策や貧困対策のため、国の施策等による多くの給付金事業が行われており、改めて、公金の適正な管理と運用が求められているところであります。

そこで、本年4月より新たに着任された会計課長に、町における公金の管理・運用の現状と会計課長としての心構えについて伺う。

4番 広島 秀一 議員

(1) 防災センターの計画の進捗状況について

防災センターの建設計画はどこまで進んでいるのか。

ワークショップを実施したと思うが、どのような内容だったのか。また、それはどの程度、計画に反映されるのかをお聞かせください。

(2) 来年の成人式実施の会場について

町民会館が解体されるので、来年の成人式はどここの会場を予定されているか。

成人者が全員入れないとか、代表参加では問題でないか。

従前は、両親や父兄も会場には入れたし、式典を見学できたが、コロナを理由に無理か問う。

(3) 布橋灌頂会について

新型コロナウイルス感染症の影響で、今年久しぶりの開催予定と聞いている。

参加する人数の募集はどのようにする計画か。また、実施する団体や協力していただく方々の協力もなかなか困難な状態と聞いているが、準備に万端を期してほしいものだが、どうか。

(4) 農家民泊事業の継続実施について

新型コロナウイルス感染症前までに行われていた修学旅行の生徒の農家民泊に私も登録しております。

現在は中断されており、今年は再開予定があるように聴いていたが、現在の状況はどうか。

5番 堀田 努 議員

(1) 五百石町筋の住民による空き家対策について

空き家が非常に多い五百石地区では空き家の庭木が伸び、道路にはみ出したり、雑草が生い茂り、獣が住み着いているところもあると住民から聞きます。あまりにも目に余るほどの状態から、一刻も早く美化しようと、地元自治会の方々が空き家の庭木の伐採や、除草をしたいとの意向を聞きました。

- ① これについて何らかの問題はあるかを伺います。また、それにかかる費用について、助成等の方策はあるかを伺います。
- ② 町による空き家の樹木伐採、雑草の除草について現状と方向性を伺います。

(2) 町民体育館の閉鎖について

町民体育館が令和6年度で閉鎖されるとのこと。現在、昼間、夜間と各スポーツのグループが活用しています。特に昼間は中高年齢の方々が、健康維持にスポーツを楽しんでいます。閉鎖後、夜間は学校開放で各学校の体育館を使用できますが、問題は昼間に利用される方々です。現在、フレッシュテニス、バドミントン、卓球などで使用されています。

- ① 閉鎖後、防災センターのスポーツスペースで、高さやコート of 広さをクリアして対応できるかの可能性について伺います。
- ② 対応できない場合、スポーツによる健康維持、あるいは仲間との集いで使用できる、町民体育館の代わりとなる施設について、町としての考えを伺います。

(3) 小・中学生のアフターコロナのケアについて

コロナは未だ収束していませんが、小・中学生のストレスは相当なものと見受けられます。

- ① 学校行事は一時より増えてきていますが、本来当たり前のように行われていた行事がことごとく中止になりました。それによる小・中学生の2年数か月に渡る、蓄積されたストレスの解消についての対策を伺います。
- ② 小・中学生の思い出作りは、最も大切なことと常々考えています。コロナにより、この思い出作りの機会は極端に減少しました。子供たちの思い出作りは家庭・学校・地域で行うものと考えます。今回の一般質問では学校における子供たちの思い出作りについて伺います。現在、“遠足”は行われていなく、これに変わって社会見学が行われています。かねがね思っていることですが、遠足を復活させてはいかがでしょうか。“遠足”という言葉は古今東西問わず、子供たちの思い出作りに必須のものと考えています。

6番 後藤智文 議員

(1) 物価高騰について

物価高騰は、暮らしを直撃しているが、国の方針の下、町として様々な政策がたてられている。学校給食費に対しては、保護者負担の軽減のために給食材料費高騰支援補助金が計上されている。学校と同様に保育所も物価高騰の影響を受けている。同様な措置を取るべきではないか。

(2) 地方創生事業について

これまで多くの地方創生事業が取り組まれたが、当初の目的は達成できたかどうか、検証が必要と思う。その中の2つの事業を問う。

① 立山ブランド海外展開戦略拠点施設について

ア ラ・フランスジュースなどを施設内で展示し、業者の皆さんに認知してもらい、立山ブランド商品を広めたいという目的はどうか。

イ 価格の高い酒米を地元農家に作らせ、農家の収入を上げたいとされていたが、その後の取り組み、目的は達成できたか。

② 搾汁施設について

ア 年間何日稼働し、どのような種類のジュースが作られているのか。

イ 目的は、農家の収入を増やすことだったが、達成しているか。

(3) 岩嶽地区の観光化について

① 岩嶽寺駅を中心にして、一つのエリアを開発して、「立山まちマップ」に載せてはどうか。

この地域には、雄山神社前立社壇、多彩な石造物（歴史散歩）、両岸分水工・豊水橋があり、一つのエリアとして成り立つと思うがどうか。足を伸ばせば、岩嶽野の桜つつみや富山地区広域圏クリーンセンター展望台がある。

② 岩嶽野の桜つつみは立派に成長し、春には多くの見物客が訪れる。駐車場をきちんと整備し、ベンチなどがあればと思うがどうか。また、対岸にあるスポーツ施設などまでとは言わないが、河原へ降りて水遊びができればよいと思うがどうか。

(4) 上東地域活性化センターについて

① 2階部分の6教室を多目的室として利用できるようになった。町民が自由に使える部屋が増えるのは歓迎するが、それをいかに使用するのが問われる。稼働率を上げる手立てはどうか。ピアノも一台あるが、うまく利用できないか。

② 町民の利用を促すために、今の上東地域の名前を変更したらどうか。上東地域の人たちしか利用できないと勘違いする人がいるのも事実である。

③ 一部屋ごとに芸術家への一定期間の貸出しなどできないか。宇陀市文化芸術活動体験交流

施設について質問したことがあるが、町勤労青少年ホームの活動と相まって活発になるのではないか。

(5) 高齢者に優しい町づくりについて

- ① 風呂に対する町民の思いは強いものがある。住民の間でグリーンパーク吉峰の風呂に入りたいが、そこへ行く手立てがないという声がある。グリーンパーク吉峰のバスを、定期的に地域を指定して送り迎えをすることができないか。
- ② 多くの地域を網羅するように整備されてきた町営バス。岩嶺寺駅まで来ている町営バスを東中野新地区と横江野開地区を経由するよう検討はできないか。
- ③ 称名滝観光で、入口から遠い称名滝展望台まで、バリアフリーバスの運行が予定されていたが、未だに配置されていない。県に対してもっと働き掛けるべきではないか。
- ④ 耕作放棄地を町民農園として整備し、家庭菜園として町民に貸出しする制度はできないか。老後の楽しみが増え、心身ともに健康になる。

(6) 県道について

- ① 主要地方道富山立山魚津線の前沢地区の歩道の整備について、大日橋から地鉄バス同心口停の手前までの北側歩道は広く整備されている。しかし、その東側の約 300m先までは一人通れるぐらいで狭くなっている。大日橋から雄山高校まで自転車で通う高校生はとても多く、この区間は歩行者がいれば大変危険な場所になっている。党として歩道の拡幅を要望しているが、町としても強く要望してほしい。
- ② 雄山神社前立社壇北側の立山道パークの駐車場は、多くの人に利用されている。しかし、冬期間は除雪されないので、駐車場が使えず不便である。夏は立山黒部アルペンルート、冬は立山山麓スキー場へ向かう途中の重要な駐車場である。冬期間も使用できるように除雪すべきではないか。

7番 澤井峰子 議員

(1) 女性のデジタル人材の育成について

政府は、「女性活躍・男女共同参画の重点方針 2022」を決定し、女性の経済的自立を後押しするため、女性のデジタル人材の育成を3年間集中的に推進するとしている。

コロナの影響により、非正規で働く女性を中心に、減収や失業などで困窮する人が増加している一方、デジタル分野の労働力の需要が高まる中、女性のデジタルスキル向上と就労支援による所得向上につながる事が重要である。

- ① 国の地域女性活躍推進交付金等を活用して、初歩的な技能を学べる講座などの開催やスキル

アップのための受講料の一部助成など、後押しできる支援策をと思うが。

- ② 女性デジタル人材を雇用・育成する企業との連携を。
- ③ 今後、在宅ワーク促進・定着が見込まれる。子育て支援として入所時に優先順位が下がらない対応が必要と考える。町の見解を伺う。

(2) 職員の働き方改革について

- ① コロナ禍にあって、職員のテレワーク体制は重要であるとする。例えばご家族が濃厚接触者なり陽性者となった場合でも業務を滞りなく進めるためには必要な体制であるとするが町の見解を伺う。
- ② 町のため、町民のためにと懸命に業務を遂行している町職員、そして教職員へのメンタルヘルス対策を伺う。また、副町長の人材育成に対する思いを伺う。

(3) ヤングケアラー支援について

厚生労働省は1月に小学6年生と大学生に実態調査を行い、小6の15人に1人が世話をする家族がいるとした。また、大学生の10.2%に世話をする家族が「いる」又は「いた」との結果が公表された。

- ① 支援を受ける必要性を自覚していない児童・生徒が一定程度いる中において、早期対策は重要であるとする。町の実態調査が必要ではないかと思うが見解を伺う。
- ② LINE相談窓口の進捗を伺う。

(4) 子育て支援について

- ① リトルベビーの支援としてリトルベビーハンドブックが全国的に広がりを見せている。町としてリトルベビーハンドブックの見解を伺う。(※リトルベビーとは低出生体重の赤ちゃんをいい、現存する母子手帳は小さな身体の成長記録できないことから)
- ② 6月より待望の子育てアプリ「たてやま親子手帳」通称「母子モ」がスタートした。このアプリの詳細、またリトルベビーの成長記録が可能かを伺う。
- ③ 物価高騰に伴う生活支援の追加ということで、学校給食費分が計上されているが、保育所、保育園への対応を伺う。

(5) がん対策

2人に1人はがん診断を受けると言われる中で、早期発見早期治療で社会復帰を果たす人が多い。

その中で、前立腺がんや膀胱がんは男性の罹患率が高く、治療後に必需品となる尿漏れパット

は生活に欠かせないとされているにもかかわらず、男性トイレには女性トイレに常設されているサニタリーボックスがないところが多い。公共施設の男性トイレに是非、おむつ用のサニタリーボックス設置をと思うが町の見解を伺う。

8番 髪口清隆 議員

(1) 学校生活について

コロナ禍の終息が未だ見通せず、社会情勢も含め日々変化している中で、様々な生活スタイルが模索されている。

そういった中、学校生活においても教職員の方々が子どもたちのために試行錯誤されている。

- ① 今年度の夏休み期間が短縮されるとのことだが、そこに至った経緯は。また、来年度以降も継続されるのか。
- ② 厚生労働省は「新しい生活様式」における熱中症予防行動のポイントの中でマスクの着用について、屋外で人と十分な距離（2 m以上）が確保できる場合は、マスクを外すように取りまとめ、学校生活においても例外ではないとのこと、立山町内の学校における今後の対策は。

(2) SNSの相談窓口について

令和3年9月定例会一般質問においてヤングケアラーなどの支援について質問をしたところ、子ども若者相談員を新年度から配置したい、との答弁を頂いた。

- ① 今年度の新規取組事業で「若年等 SNS 相談窓口開設」が計上され早急の設置が望まれるが、現在の状況と今後のスケジュールは。
- ② 今年度、新たに課長に就任された山田企画政策課長の抱負を伺う。

(3) 町営バスの運行について

町営バスの運行は、高齢者の方など生活弱者の移動手段として重宝され、大切な役割を担っている。

- ① 利用者の高齢化で、バス停までの歩行が困難になり、集落の中まで運行してほしいとの話を聞く、きめ細かな運行はできないか。